

浜松市立井伊谷小学校 令和2年度実践報告書

井伊谷小学校では、学校教育目標「井の国で 心豊かに たくましく 伸びる子」の実現を目指し、今年度は「チャレンジ」をキーワードとし、「なかよしの宝にチャレンジ」「あいさつ日本一にチャレンジ」「なりたい自分にチャレンジ」を合言葉に教育活動を進めてきました。

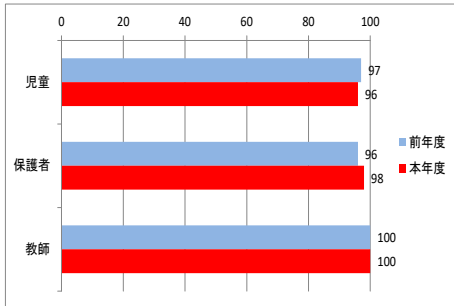
この実践報告書は、令和2年度の取り組みや評価、今後の具体策についてまとめたものです。是非、御一読ください。

なお、評価の低かった項目については、来年度、工夫や改善を行い、教育活動の充実に努めていきたいと考えています。引き続き、御支援をよろしくお願いします。

※評価は、4段階で「よくできている」「大体できている」と回答した割合を示しています。

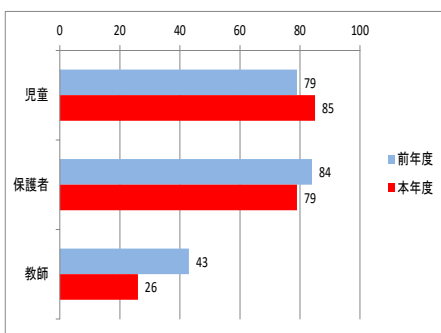
I 子供たちについて

① 友達と仲良く楽しい学校生活を送ることができている。



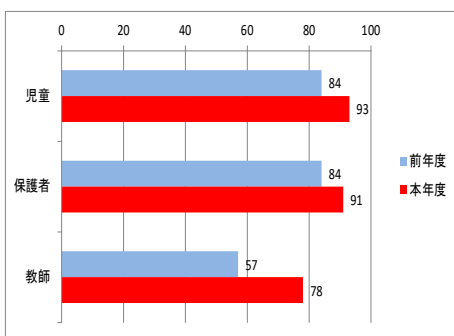
今年度も、評価は三者とも高いものとなっています。引佐南部中学校区では、毎月11日を基準に「いい顔の日」として、グループエンカウンターを実施し、人間関係力の強化に努めています。また、学習では、相互交流を行いながら友達の良いところを知り、楽しく学習することができるようにしてきました。来年度も、学級や学年、異学年の友達と楽しく関わることができる活動を取り入れていきたいと思っています。

② 大きな声で挨拶をすることができている。



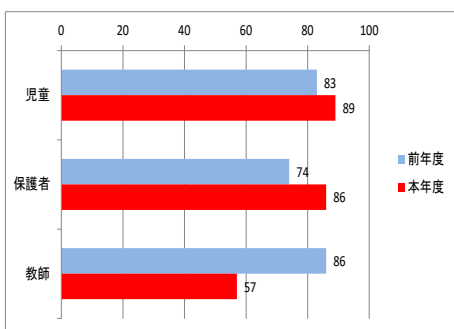
年間を通して、毎朝校門や昇降口での挨拶に取り組んできましたが、昨年度よりも低い評価となりました。コロナ禍の影響も大きいと考えられます。児童と保護者・教師の評価にずれがあることから、「気持ちのよい挨拶とは、どんな挨拶なのか」を児童と共に考え直し、同じ目標に向かっ、三者が取り組んでいきたいと思えます。また、個人差の解消、家庭や地域で自然と挨拶ができる子供たちの育成を目指し、更なる向上をしていきたいと考えています。

③ 友達や先生の話最後まで聴くことができている。



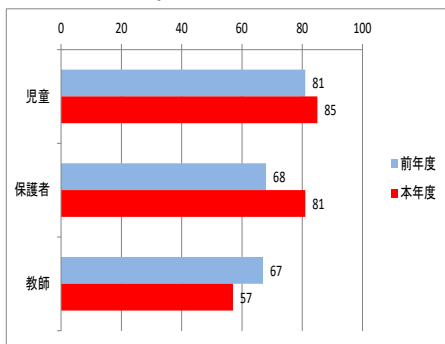
人との関わり合いの基本である「聴き方」について、各学年・各学級ごとに「よりよい話の聴き方」の指導を繰り返しています。三者とも、評価が上がりました。普段の授業を中心として、相手の話をきちんと聴くことが学習理解・他者理解につながることを今後も粘り強く指導していくとともに、家庭や地域においても、相手の話を最後まで聴くことができる態度を身に付けられるようにしていきたいと思っています。

④ 正しい言葉遣いで話をする事ができている。



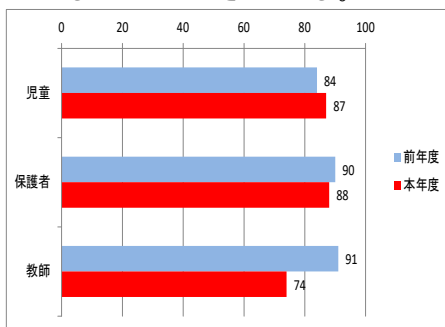
言葉遣いについて、教師の評価は下がりましたが、児童・保護者の評価は上がる結果となりました。この差は、今年度、学校以外の場面で子供同士が関わる場が減っているのではないかと考えます。学校では、子供同士が関わる場面で、子供たちの発する言葉に注意が必要なが多かつたです。正しい言葉遣い、相手との結びつき・信頼関係の高まりにつながることを、今後も具体的な場面に即して指導していきたいと考えています。

⑤ 友達や先生に分かるように大きな声で発表をすることができる。



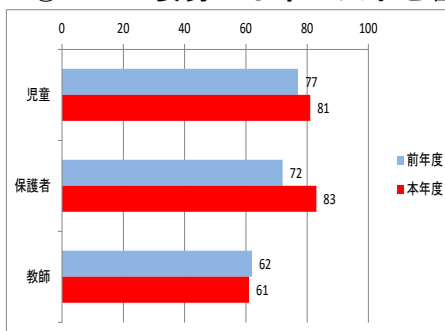
挨拶の項目と同様、前年度と比べると、児童と保護者・教師の評価にずれがある結果となりました。日々の活動を通して指導してもらったので、解いた声の力を養うことができています。

⑥ 自分の考えを発表したり、友達と話し合い考えを深めたりすることができる。



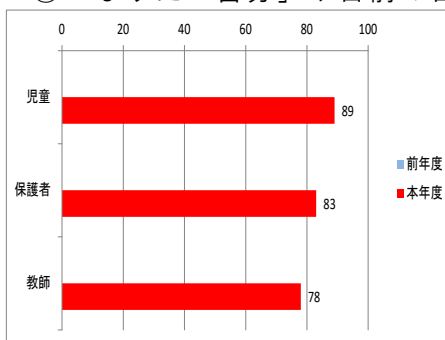
三者の評価に多少の差はありますが、昨年度同様高い評価となりました。今後も学習の共有化の「相互交流」を授業の中につなげていきたいと思います。また、保護者や地域の方にも、参観していただく授業の中での学びにつなげていきたいと思います。

⑦ 正しい姿勢で丁寧に文字を書くことができる。



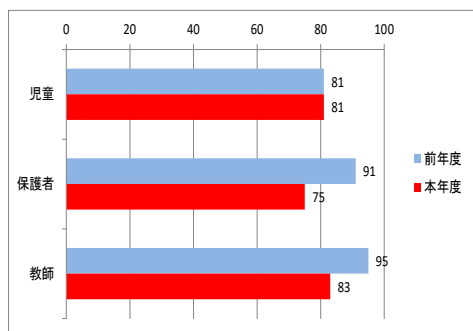
昨年度より評価が上がりました。正しい姿勢で丁寧に文字を書くことは、健康の保持と学習の効率化にもつながります。今後も各級へ粘り強く声をかけ、学習中の姿勢を定着させていきたいと思います。

⑧ 「なりたい自分」や目の目標に向かって努力している。



今年度新たに追加した項目です。「なりたい自分にチャレンジ」の合言葉で、約8割の児童が「目標に向かって努力している」結果となりました。「はまっ人づくり未来プラン」の核となる「キャリア教育の推進」が、本校でもよいスタートができたと感じます。子供たちが「キャリアパスポート」を使って自分の成長を振り返ったりして、次の目標にチャレンジできるように取り組んでいきます。

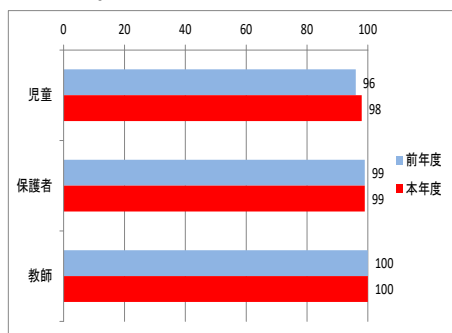
⑨ 読書が好きで、進んで本を読んでいる。



昨年度から朝の読書の時間を増やしてきました。その成果として、図書室の本の貸し出し冊数は増えていきましたが、今年度は休校の影響もあり、減っています。個人差が大きいように感じます。読書は、国語力や読解力、さらには読書を通して体験することもできます。是非御家庭でも、子供が本と触れ合う時間を大切にしたいと思っています。

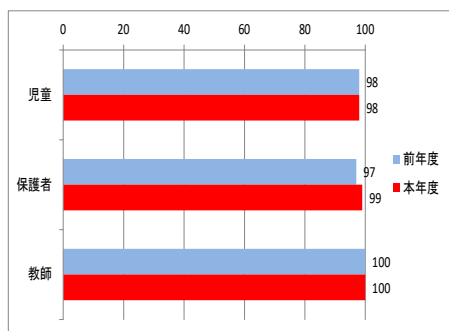
II 教職員について

① どの子ども大切にしたいの分かりやすい授業を行うことができる。



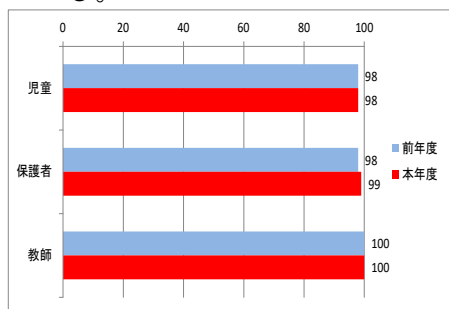
三者の評価が高いことから、分かりやすい授業が行われていると考えられます。今年度は、「授業のユニバーサルデザイン化」の中でも特に「焦点化」に力を入れ、子供たちにどのような力を付けたいのかを明確にした授業展開を考えてきました。今後、一層の教材研究と授業実践、確かな学力の定着のために図り、「学習したことがよく分かった」「理解が十分深まった」と、どの子ども感じられるようにしていきたいと考えています。

② はっきりと聞こえる声で説明や指示を行うことができる。



三者とも、高い評価をしています。子供たちの学びがより確かなものになるように、授業での発問、様々な活動での指示を明確にして、ききたいと思えます。また、めあて（ねらい）から外れることなくスムーズに進めていくことができるような説明・指示ができるように心掛けていきたいと思っています。

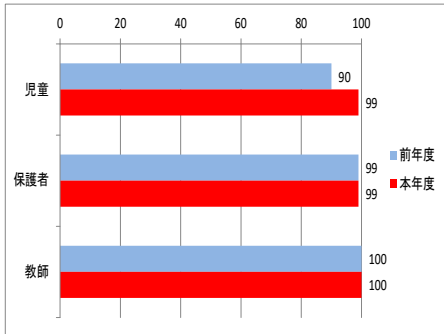
③ 保護者や地域の方にさわやかな対応をすることができる。



昨年度同様、本年度も高い評価になっています。教育は、学校と家庭・地域が信頼し合いながら共同歩調で進めていくことで大きな効果が生まれます。これからも教師自身が児童、保護者、地域の模範となり、それぞれ一人一人が教育職員としての自覚をもち、きちんと行動していくようにしたいと思っています。

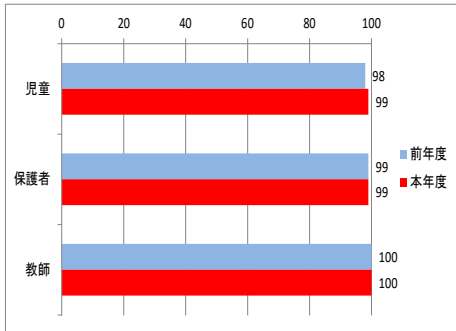
Ⅲ 学校について

①学校は、安全で美しい環境づくりに努めている。



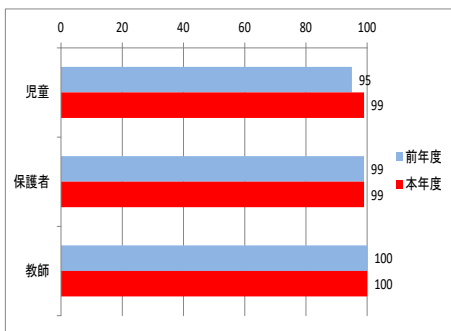
新見たもの、校感、子供、学、美、学、よ、対、き、たい、い、ます。また、必要、安、全、な、環、境、に、努、め、て、い、ま、す。見、つ、け、る、よ、う、な、環、境、を、も、つ、て、い、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。

②学校は、家庭や地域と連携して教育活動を行っている。



得、て、い、ま、す。多、く、の、場、面、で、大、変、な、方、々、に、支、え、を、得、て、い、ま、す。見、つ、け、る、よ、う、な、環、境、を、も、つ、て、い、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。

③学校は、教育活動がよく分かるように、たよりやホームページ等で情報発信している。



充、実、を、図、り、プ、ロ、グ、を、「ほ、ぼ、毎、日」、の、更、新、す、こ、と、を、お、伝、え、し、て、い、ま、す。見、つ、け、る、よ、う、な、環、境、を、も、つ、て、い、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。三、者、と、も、高、い、評、価、を、得、て、い、ま、す。校、舎、の、美、し、さ、を、保、護、し、ま、す。環、境、を、保、護、し、ま、す。

井伊谷小ホームペ-ジ URL
<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/iinoya-e/>



これらの他にも、多くの御意見、御要望をいただきました。本当にありがとうございました。来年度の井伊谷小学校の教育に役立てていきたいと思ひます。

